

Ponleum PRO ユーザーズガイド

作業取り扱い上の注意

- 移送中における傷、へこみ、雨漏れ等に注意し、保管に際しては直射日光や多段積みを避けてください。尚、タテ積み保管時には倒れない工夫をしてください。
- SXG・Sタイプ裏面にガラス基材を使用していますので、直接皮膚に触れないようにご注意ください。万が一、目に刺激を感じた場合や身体に異常が感じられましたら決してこすらず流水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- 接着剤での作業の際、接着剤の缶に表示してある労働安全衛生法による注意点をよく読んでください。
- 施工終了後、残材、切り屑を始末し、床面を清掃してから引き渡してください。

施工のポイント

下地のチェックは充分に

- 仕上がりの良い悪いは下地の状態が決まります。下地は良く乾燥させ、凹凸、不陸、すき間を補修し、ゴミ、塗料等の汚れは完全に除去してください。又、伸縮の恐れがある下地（パーティクルボード等）への施工は充分にご注意ください。
- 湿気のある下地や表面強度のない下地は接着力が低下し、トラブルの元となりますので、ご注意下さい。

下地に合った接着剤

- 下地の種類、乾燥状態、床材の使用条件などを考慮し、適切な接着剤を選定してください。

必要な長さにカット

- 柄合わせを必要とする施工には、要尺検出の際、柄マッチ分（サンプル帳の柄ページの中に記載されています）と余尺（約5~10cm）をプラスした材料を準備してください。

仮敷き

- 十分に室温を上げ（20℃前後）、巻癖が取れるまで養生してください。又、トーチランプ等で部分的に暖めるのは避けてください。変色や反りの原因となります。

壁際等の材料カット

- SXG・Sタイプ以外の製品は、壁際・柱回り等は、きつ目に押し込まない様にカットしてください。当て切りやトリマーなどを使わずに幅定規等を用いて切り込んでください。

接着剤の用途及び作業性 尚、オープンタイムは気候（温度・湿度）、下地、使用床材によって変化します。

種類・品名	材料	下地	工法	材料標準塗布量	貼付可能時間	オープンタイム	施工時の条件
合成ゴム系ラテックス形	SXG.S	良く乾燥したモルタル床・木質床	一般工法	300g/m ²	20~30分	10~15分	5℃以下では施工できない。
アクリル樹脂系エマルジョン形	ポンリウムプロ全般	良く乾燥したモルタル床・木質床	一般工法	300g/m ²	30分	10~15分	5℃以下では施工できない。
エポキシ樹脂系溶剤形（二液型）	ポンリウムプロ全般	モルタル床・木質床・鉄板下地	耐水工法	350g/m ²	60分	10~20分	5℃以下では硬化が遅れる。
ウレタン樹脂系溶剤形	ポンリウムプロ全般	モルタル床・木質床・鉄板下地・プラスチック下地	耐水工法	360g/m ²	40~60分	15~25分	低温でも施工可能。
酢酸ビニル樹脂系溶剤形	巾木	良く乾燥したモルタル・木質	立上がり部	350g/m ²	30分	10~20分	

※FCについてはP41をご参照ください。

ご使用上の注意

- 水、油類を床面にこぼした時は、滑りやすくなりますのですぐに拭き取ってください。
- 漂白剤、毛染液などの化学薬品を床にこぼしたときは、すぐに拭き取ってください。床材の変色、変質をきたす可能性があります。
- 重量物や尖った脚の物には、ゴム製品以外の保護具を付けてください。又、引きずりますと傷をつけるおそれがありますので移動の際にはご注意ください。
- 軟質塩ビ製品のため、タバコの火等で焦げあと等が付きまますのでご注意ください。

汚染についての注意

ゴム汚染について

- ある種のゴム製品は、長尺塩ビシートのような軟質塩ビ製品に長時間接していると、ゴム中の成分により床材を暗褐色に変色させる可能性がありますのでゴム製品とは直接接触させないでください。この汚染はゴム製品の使用をやめた後、時間を経て出る時もありますので、予防として家具の脚キャップ・机や椅子等のゴムキャップ・キャスターなどはゴム製品以外の保護具（アルミフویل又はポリエステルシート等）を使用し、直接床材と接触しない様にしてください。また、自動車、自転車のタイヤなども変色の原因となりますので、床材上に放置しないでください。やむをえず置く場合には、床材との間に保護具を入れ直接の接触は避けてください。

下地からの汚染について

- 下地に塗布された防汚剤、防蟻剤又は内装用塗料で床材が汚染・着色する可能性がありますので、油性の場合はシンナーで、水性の場合は水で拭き取り、保護シート等での処置後施工してください。特に新築・改築時や、白蟻退治等の工事の際には、工事業者に長尺塩ビシートを使用する事を説明し注意をうながしてください。

柄合わせを美しく処理

- 1枚目と2枚目の柄をピッタリ合わせて、カッターを垂直に立てて2枚を一度に重ね切りしてください。

圧着を充分に

- 接着施工後、圧着ローラーや布を巻いた角材で中心から外に向けて中の空気を抜く様に圧着し、空気溜まりやガスを取ってください。特に壁際や継ぎ目はていねいにやってください。

継ぎ目処理

- シーム処理
床材の種類によりシーム液が異なりますので、適切なシーム液でシーム処理をしてください。
- 溶接処理
ジョイント部分をVまたはU字型に溝を切り、専用溶接棒を溶接機で溶着後、余盛り部分をスパトラナイフ等でカットしてください。（注：SXG・Sタイプは溶接は出来ません。）

端末処理

- 開放廊下等の耐水工法での端部の処理は特殊シーリング材・エフシールで止水してください。

